

## 令和2年度一般社団法人ちろる事業報告

令和2年度も福島県様から「令和2年度福島県内避難者・帰還者心の復興事業補助金」や公益財団法人キリン福祉財団様から「令和2年度キリン・地域のちから応援助成」の補助金や助成金に採択いただくことが出来た。また今年度は復興庁様から「令和2年度心の復興助成」、公益財団法人パブリックソース財団様から「第1回 J-Coin 基金」、「第3回 J-Coin 基金」、READY FOR 様の「新型コロナウイルス感染症：拡大防止活動基金」、中央共同募金会様から「赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援キャンペーン フードバンク活動等応援助成」の第1回目助成、第2回目助成、ふくしまNPO支援センター様から「元気助成金 新型コロナ緊急支援助成」、しんぐるまざあず・ふぉーらむ様から「だいじょうぶだよ！基金ひとり親支援事業助成」の助成を受けることが出来たため、必要な備品の整備や新型コロナウイルスに関連した事業、ひとり親世帯の支援や高齢者等の運動教室等の新しい事業にも取り組むことが出来た。

本法人の現在の活動の中心である東日本大震災及び福島第一原発事故のために二本松市の復興公営住宅や民間借り上げ住宅、自己再建住宅で生活している方に対しての事業は、昨年までに引き続いて、復興公営住宅の団地の中でのつながり、団地を越えたつながりの強化の為に事業を実施し、また異世代交流として大学生と避難者、又は地元住民と避難者との交流機会を数多く持てるような事業を実施し、二本松市という新しい生活環境で孤立しない為の働きかけを行うことが出来た。

また安達東高校への福祉の出前講座、そして座学ばかりではなく同高校生へのボランティア活動の実践の場のコーディネートや福島大学の学生さんに対して、年間を通してのボランティア活動の実践の場の提供を行った。

更には二本松市内外の関係機関や連携の輪を広げる活動もより多くのネットワークを構築できるように積極的に行った。具体的な事業報告については以下の通りとなります。

### 【避難者支援事業】

#### ●大人食堂（令和2年6月から令和3年3月まで毎月1回、計10回実施）

子ども食堂の大人版。自分達で食事を作って食し、孤食を防ぐと共に参加者同士のつながりをつくる。

実施月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	14	15	14	14	15	14	15	14	15	17	147

#### ●男の料理教室（令和2年6月から令和3年3月まで毎月1回、計10回実施）

男性の食の自立と参加者同士のつながりをつくることを目的に、料理を作った交流。

実施月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	10	10	13	12	13	11	11	12	15	14	121

#### ●ちろるんるん♪（令和2年6月から令和3年3月まで毎月1回、計10回実施）

物づくり、季節の行事や避難元地域で活発に行われていたスポーツ等を通して参加者の交流を図る。

実施月	6月茶話会	7月ハロウィン	8月陶芸教室	9月ハロウィン	10月茶話会	11月芋煮会
参加者数	17	15	15	18	10	43
実施月	12月クリスマス会	1月新年会	2月茶話会	3月ハロウィン作り	計	
参加者数	9	18	13	19	177	

●**学生食堂**（令和2年6月から令和2年3月まで、計10回実施）

福島大学生が避難者と一緒に食事を作り、食べ、交流を図る。

実施月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加者数	84	44	15	35	46	32	21	18	19	17	331
うち 福島大学生	3	3	4	3	4	3	3	4	4	4	35

●**季節の行事**（令和2年8月から令和3年1月まで、計6回実施）

夏祭りや収穫祭、新そば祭り等季節の行事を避難者と地元住民という元々の住まいの壁を越えて現在は同じ二本松市に住む住民として、更には学生との世代の壁も越えて、協働しながら交流を図る。

実施月	8月	10月	11月	11月	1月	3月	計
内容	夏祭り	収穫祭 (石倉団地)	芋煮会 (表団地)	新そば祭り	もちつき大会	ひな祭り	
参加者数	67	210	49	27	57	46	456

- ・8月夏祭りはちろるで企画運営から参加し、当日は福島大学生ボランティア生2名参加。
- ・10月石倉団地収穫祭は5月に石倉団地住人に講師になっていただき、まゆみ幼稚園の園児とサツマイモを石倉団地近くの畑に植えて、育てて、収穫までの一連の流れを行う。収穫祭当日は二本松市内のボランティア11名参加。

●**運動教室**（令和2年10月から令和3年3月まで、計72回実施）

身体機能の維持・向上、認知機能の維持を目的に、何歳になっても介護保険を利用しないで自分らしい生活を送ることが出来るように、運動教室を行う。

実施月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数	11	12	13	11	13	12	72
参加者数	87	96	103	83	104	92	565

※令和2年8月から9月までの2ヶ月間は各避難元自治体や社会福祉協議会に実施の呼びかけや周知依頼等、運動教室実施に向けての下地作りを行う。

●**畑団ラン事業**

避難者が避難前に取り組んでいた畑での野菜作りを避難先の二本松市でも行えるようにし、野菜作りを通して避難者同士の交流や地元の児童に野菜作りを教えるの生きがいを創出する。

●**個別支援**

一人暮らし高齢者や孤立している世帯を対象に定期的に訪問し、安否確認を行い、個別に相談に乗る。必要がある場合にはフォーマルサービスやインフォーマルサービス等の支援につないだ。

●**自治会、クラブ等の後方支援**

表団地や石倉団地、若宮団地等の自治会、コスモス会、手芸クラブ等の運営や事業の実施がスムーズに展開するように会長さんや事務局と協働する等の後方支援を行う。

【出前講座】

## ●高校での出前講座

4月17日 安達東高校で「フードロスについて」 参加者 25名

9月8日、10日 安達東高校で「地域福祉について」 参加者2日間で28名

12月15日 安達東高校で「フードバンクと地域福祉について」 参加者 20名

## ●二本松倫理法人会での出前講座

二本松倫理法人会から依頼を受けて、11月6日と11月27日にアーバンホテル二本松で「介護保険を利用しない生活を送るために」、「東日本大震災を経験して」についての講座を行う。

参加者2日間計19名

## ●認知症カフェでの出前講座

9月2日、9月18日、10月14日、11月4日にNPO法人コーヒータムから依頼を受けて、認知症カフェで高齢者の特性、認知症の種類、認知症になりにくい生活スタイル等についての講座を行う。

参加者 4日間計45名

## ●レクリエーションの講師

### ・みどり会

みどり会から依頼を受けて、若宮コミュニティセンターでレクリエーションの講師を行う。

8月28日 みどり会参加者30名

10月9日 みどり会参加者30名

### ・グレートアカデミー

グレートアカデミーから依頼を受けて、二本松市文化センターでレクリエーションの講師を行う。

9月15日 グレートアカデミー 40名

### ・新町なみえ

新町なみえから依頼を受けて、石倉団地集会所でレクリエーションの講師を行う。

7月31日 石倉団地参加者6名

9月30日 石倉団地参加者9名

10月30日石倉団地参加者9名

11月25日石倉団地参加者11名

## 【新型コロナウイルス関連事業】

### ●畑での野菜作り事業

上記の畑団らん事業に新型コロナウイルスで収入が減少した方にも呼びかけを行い、一緒に参加してもらい農作物を作り、成果物をお渡しする。令和2年8月から令和3年3月まで実施。

### ●よろず相談所の開設

令和2年8月から令和3年3月まで、学校法人まゆみぷらすの場所を使わせて頂き、ひとり親世帯の方や新型コロナウイルスで収入が減少し、食べるものに困っている方、家族の児童の問題や親の介護の問題など、なんでも相談できる場所「よろず相談所」を毎月1回開設。

金銭的な相談 6件 育児に関する相談 5件 その他の相談 12件

## ●お米配布事業

新型コロナウイルスの影響で食べることが困難な世帯及び困難になりそうな世帯の方に対して、お米30キロ1袋をお渡しし、食の心配をなくすための事業。申込み件数36件で、うちひとり親世帯が34件、その他の世帯から2件の申し込みがあった。

また子ども食堂を実施しているまゆみ学園が新型コロナウイルス後、利用件数が増えているのだけれども、お米等食材の提供が減少しているということで、お米の寄付を実施。

## ●新商品開発事業

新型コロナウイルスの影響で営業自粛、営業時間短縮になった、もしくは客足が遠のき収入が減少した地元の飲食店と出荷先等が減少したことにより、せっかく野菜等を作っても出すところがないために収入が減少した地元の農家をコーディネートして、新商品を開発して、地元の直売所等に置いてもらう。

また民間企業から仕事を下請している地元の障がいがある方の施設も、下請け業務が減少し、施設を閉所したりする所もあるということで、地元の障がいがある方の施設に商品のラベル貼りを依頼し、地元の飲食店と農家と障がい者施設の3方良しの関係性を創る。

新商品第一弾は「ちろる生ドレッシング人参味と生姜味」、新商品第二弾は「さつまいもスイーツ」、新商品第三弾は「ちろるアイスクリーム」

## 【情報発信事業】

### ●事業終了後、すみやかに各事業をホームページ、ブログで発信

### ●YouTubeでの発信事業

新型コロナウイルスの影響を受けて収入が減少している地元の飲食店を応援するため、取材し、動画を作成しYouTubeで情報を発信。

チャンネル名「ちろるチャンネル」

アップ動画件数 18件 アクセス件数合計 3,386件（令和3年3月31日現在）

### ●新聞への連載

福島民報新聞で令和3年1月から4月まで、全5回『民報サロン』への執筆を行う。

- ・第1回目 令和3年1月18日 タイトル『料理でつながる人と人』
- ・第2回目 令和3年2月7日 タイトル『学生食堂オープン中』
- ・第3回目 令和3年2月28日 タイトル『福祉の裾野を広げよう』
- ・第4回目 令和3年3月21日 タイトル『心の復興』
- ・第5回目 令和3年4月10日予定

### ●雑誌への寄稿

自治会町内会情報誌『まちむら』の153号（2021年2月発行）の東日本大震災から10年が経過した被災地の現状及び被災地での活動を「東日本大震災の避難者支援活動」のタイトルで寄稿。

### ●ラジオでの発信

ふくしまFM『福島トヨタ ここからモーニング』に令和3年3月30日、3月31日、4月1日（予定）の3日間出演。法人の活動等についてPRを行う。